

重点戦略評価シート

重点戦略	2 若者・子育て世代の定住環境の創出
------	--------------------

目的	将来的なまちづくりを考えていくうえで、若者・子育て世代を中心とした人口誘導が求められている。安心して子育てができる環境の創出に向けて、特色ある施策を展開し、情報発信することで若者・子育て世代を呼び込み、定住人口の増加を図る。
重点戦略に位置付ける基本目標 (まちづくり宣言)	基本目標（まちづくり宣言）
	4. 子育て環境日本一を目指したまちづくり（重点施策）
	5. 心豊かな「龍の子」を地域で育てるまちづくり

【評価結果】

1. まちづくり宣言ごと評価結果及び重点戦略総括評価結果

まちづくり宣言	主要事業名	主要事業の評価	点数	まちづくり宣言ごとの評価						重点戦略総括評価
				順調	概ね順調	遅れている	見直しが必要	満点に対する割合 合計点数÷満点	宣言評価	
4	保育・預かりサービスの充実	順調	4	7	3	0	0	92.50%	A	B
	遊びの拠点づくり	概ね順調	3							
	出会いのサポート	順調	4							
	緊急時の医療体制の確保	概ね順調	3							
	たつのご育て応援の店・施設の充実	順調	4							
	医療費と給食費の負担軽減	順調	4							
	相談・支援体制の充実	順調	4							
	3人っ子応援制度	概ね順調	3							
	「子育て環境日本一」のアピール	順調	4							
	住み替え支援策の構築	順調	4							
5	教育市民会議の開催	概ね順調	3	1	7	0	0	78.13%	B	B
	学力の向上	概ね順調	3							
	学校図書の実践	概ね順調	3							
	小中学校の適正規模適正配置	概ね順調	3							
	教育支援体制の充実	概ね順調	3							
	学校・家庭・地域連携による特徴的な教育環境の創出	概ね順調	3							
	龍・流連携事業の拡大	順調	4							
	特色ある学校づくり	概ね順調	3							
満点に対する割合 合計点数÷満点										
86.11% (62/72点)										

2. 重点戦略 取組状況

【総括】
<p>「子育て環境日本一！」をスローガンに、複数の新規事業に取り組むなど、安心して子育てできる環境の創出に向けて各種事業を展開しており、全ての事業において「順調」若しくは「概ね順調」と評価している。</p> <p>なかでも、保育・預かりサービスの充実に向けて、保育所等や学童保育ルームの増設や定員拡大、預かり対象児童の拡大等の取組と並行して、駅前子どもステーションの新設やファミリーサポートセンターの利用促進の取組が積極的に進められてきている。また、相談・支援体制の充実に向けた取組においても、食育健康教室や離乳食教室、訪問指導等の継続した取組に加え、子育てコンシェルジュの配置や子育てきずなメールの配信、子育て世代包括支援センターの設置などの新規事業を開始し、一層の体制充実に取り組んでいる。</p> <p>そのほかにも、医療費助成マル坊制度の対象拡充（18歳まで）や3人以上就学世帯への給食費負担軽減、第3子以降に対するすくすく保育助成金の支給など子育て世帯への経済的支援の取組や「若者子育て世代住宅取得補助金制度」の構築・運用開始による子育て世代の定住促進に向けた取組のほか、少人数制指導・チームティーチングの推進や指導法・学習形態の工夫改善などによる学力向上の取組、読書活動推進の取組、たつのご支援システムによる教育支援体制の充実の取組など教育環境充実に向けた取組が進められている。とりわけ、教育支援体制充実の取組では、教育相談員、学校教育相談員、さわやか相談員等による相談活動のほか、不登校を中心とした様々な悩み・問題に対する支援に力を注ぎ、子どもたちひとり一人に向き合うことにより不登校の解消が図られているが、多様化・複雑化する現代の教育環境下において不登校児童・生徒は増加傾向にあり、不登校率としては改善されない状況にある。</p> <p>今後も継続した事業推進はもちろん、新たに運用開始した取組を中心に周知PR・利用促進を図っていくとともに、他自治体との数値比較などによる市内外に向けた有効的な情報発信の取組が必要である。</p>
【優先プロジェクト 取組状況】
<p>◎保育・預かりサービスの充実</p> <p>既存幼稚園の幼保連携型認定こども園化推進により、新たに2園を開園したほか、学童保育ルームの対象児童を小学校6年生まで拡大、この対象拡大に伴うルーム増設以外にもH25年度以降、入所児童の増加に応じて随時ルームの増設などを実施してきた。また、新たな取組としてH28年度より駅前子どもステーションの運営を開始し、利用促進のため周知PRに努めている。</p>
<p>◎遊びの拠点づくり</p> <p>龍ヶ岡公園たつのご山周辺を遊びの拠点と位置づけて大型遊具を設置し、休日を中心に市内外からも訪れるなど好評を得ている。また、安全に楽しく外遊びをする機会の提供として、平成26年度より「たつのごプレーパーク」を年に複数回、開催してきた。プレーリーダーの確保と育成に関して、今後の課題が残る。</p>
<p>◎龍ヶ崎市教育市民会議の開催</p> <p>取り組み開始当初は仕組みの構築に若干の遅れが生じたものの、仕組み構築後は「（仮称）龍ヶ崎市教育プラン」において市民の声を反映すべく、平成27年度・28年度に合計8回の教育市民会議を開催した。今後の開催に向けては、参加促進について検討する必要がある。</p>

3. 行政経営評価委員会の主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童ゼロや、佐貴駅前子どもステーションの新設などの新事業を含む複数の取組がされており、評価結果：Aは妥当である。マル坊制度の対象年齢18歳までへの拡大なども、子育て世代にとっては大きな支援の取組だと感じる。 ・今後の事業推進においては、小中一貫校の検討やICT等を活用した先進的な取組の推進などについても評価の対象として位置づけ、公表していくべきだろう。 ・数値目標に設定されている中学生の図書貸し出し冊数が目標値に達してはいないものの、他市の状況と比較しても決して少なくない貸し出し冊数であり、学校図書の充実の項目は「順調」の評価としてもよいと感じる。
--

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

重点戦略	2 若者・子育て世代の定住環境の創出
まちづくり宣言（基本目標）	4 子育て環境日本一を目指したまちづくりを進めます。
宣言が目指すまちの姿	「子どもを産み、育てるなら龍ヶ崎」と思ってもらえるような、他にはない、充実した環境の中で、子ども達や子育て世代がいきいきと暮らしています。

1 総括評価

進捗状況評価	A	評価コメント マル福制度の対象拡大（高校生まで）や第3子の給食費の負担軽減策の実施、小児救急医療輪番制による夜間医療体制の確保のほか、ファミリーサポートセンターの充実、駅前こどもステーションの設立、学童保育ルームの増設など、「子育て環境日本一」に向けて、子育て環境整備のため各種取組が概ね順調に進捗している。また、子育てコンシェルジュや母子保健コーディネーターの配置など相談・支援体制の充実のための取組も進められている。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性（改善策） 子育て環境日本一に向けた数々の取組を子育て世代の市民に広く周知し活用を送信するとともに、利用者アンケート等を活用して当事者の意見を反映したより有効性のある取組としていく必要がある。また、待機児童（年度途中において発生あり）の解消に向け、利用定員枠の拡充や小規模保育所等の開設に向けて取り組んでいく。

2 主要事業の概要

主要事業名【担当課】	実施工程進捗状況	取組状況と事業推進上の課題
優先プロジェクト 保育・預かりサービスの充実 【こども課・生涯学習課】 ※成果報告書 進捗管理シートP17参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	利用者アンケート実施による利用状況等の把握や事業周知に努め、ファミリーサポートセンター実利用人員は前年度比11%増とした。活用促進に向け、他事業と均衡のとれた料金設定の検討が課題である。また、学童保育ルーム待機児童を出さないとの方針のもと、ルームの増設を行った。今後も入所児童数に応じた対応が必要である。
優先プロジェクト 遊びの拠点づくり 【施設整備課・生涯学習課】 ※成果報告書 進捗管理シートP18参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	大型遊具は使用頻度が高いことから、消耗品のゴムやワイヤーロープを使用している箇所については、交換時期に関わらず、特に注意を払い点検を実施している。また、本年度も社会福祉協議会の学生ボランティアの協力を得て、3回のプレーパーク事業を実施したが、引続きプレーリーダーの確保が課題である。
出合いのサポート 【商工観光課】 ※成果報告書 進捗管理シートP19参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市広報紙へのマリッジサポーターが実施する婚活パーティー及び結婚相談会に関する記事掲載による周知PRや事務協力・支援を行った。また、当市マリッジサポーターとの連携を図り、市内を会場として婚活パーティーを実施して出合いの場を提供した。今後もマリッジサポーター等と連携して継続した取組が必要である。
緊急時の医療体制の確保 【健康増進課】 ※成果報告書 進捗管理シートP20参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	各協力医療機関および各構成市町村の連携のもと、小児救急医療輪番制により夜間の救急医療体制が確保されている状況にある。年1回開催する担当者会議において、当該輪番制の運営状況について確認を行った。
たつのこ育て応援の店・施設の拡充 【こども課】 ※成果報告書 進捗管理シートP21参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	たつのこ育て応援の店などについて、店舗を訪問しながら協力依頼することで、登録店を拡大した。今後は、店舗数拡大の取り組みと平行して、既存登録店や事業の周知をこれまで以上に強化していく。
医療費と給食費の負担軽減 【保険年金課・学校給食センター】 ※成果報告書 進捗管理シートP22参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	中学3年生までの子どもに対して、小児マル福受給者証を交付し、医療費の助成を行った。更に、平成29年4月1日から、対象を高校生まで拡大することとし、3月中に対象者に対して受給者証の交付を行った。今後も継続して、高校生までの医療費助成及び子育て世帯への給食費負担軽減を実施し、子育て世代の支援に努めていく。
相談・支援体制の充実 【健康増進課・こども課】 ※成果報告書 進捗管理シートP23参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	食育健康教室の新規開催1園のほか、離乳食教室を12回実施した。また妊娠後期妊婦電話相談（492件）、出産1か月の母親電話相談（528件）など、妊娠期～子育て期の切れ目ない支援に取組んだ。今後は、保護者の関心を得るため、集団または個別に栄養指導を行いたい。
3人っ子応援制度 【こども課】 ※成果報告書 進捗管理シートP24参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	平成22～24年度第3子以降のすくすく保育助成金支給対象者に対して通知し、申請の勧奨を行った。支給に当たっては、滞納状況の審査を行いながら適正な支給を行った。また、先進自治体の取組を調査し、新たな支援制度として「多子世帯支援事業検討書」を作成したが、今後の国・県の動向を注視していく必要がある。
「子育て環境日本一」のアピール 【こども課】 ※成果報告書 進捗管理シートP25参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	「こどもまつり」を12月11日に龍ヶ崎市文化会館にて開催し、行政・地域・企業が一体となって「子育て応援都市」を宣言するなど子育て環境日本一をアピールし、大勢の親子に参加頂いた。なお今後の開催にあたり、更なる参加人数増加を見込める会場選定と実施メニューの見直しが課題である。
住み替え支援策の構築 【都市計画課】 ※成果報告書 進捗管理シートP26参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	事業が浸透してきたことから、前年度と比較し、申請件数、交付決定件数が大幅に伸びている状況である。今後については、本市での定住をさらに促進させるため、課題として市外への周知活動を行っていく。

3 取組状況や成果に関する指標

指標	実績値, 推移, 他自治体比較など
保育所待機児童数 (平成 29 年 4 月 1 日現在)	龍ケ崎市: 0 人 (石岡市・守谷市 0 人/土浦市 10 人/取手市 13 人/阿見町 15 人/つくばみらい市 16 人/阿見町 43 人/牛久市 53 人/つくば市 114 人)
いばらきキッズクラブ協賛 店数 (店)	龍ケ崎市: 144 店 (つくば市 433 店/土浦市 256 店/守谷市 168 店/取手市 144 店/石岡市 129 店/牛久市 127 店/阿見町 63 店/つくばみらい市 61 店)

4 数値目標の達成状況

(重点施策) 龍ケ崎市が子育てしやすいまちと感じている市民の割合 (%) 【こども課】

☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
→80.0	—	—	43.0	—	44.7
現状評価	現状分析と改善策				
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	平成 28 年 12 月に, 子育て環境日本一を目指したまちづくりの推進と, すべての市民が力を合わせて地域社会全体で子育てを支えていく社会の実現を謳い「子育て応援都市」を宣言した。また従来の取り組みに加え, 子育て情報サイト開設, 県内初の電子母子手帳導入, 高校生までのマルフク拡充決定など, 新たな子育て支援策を打ち出し, 子育てしやすいまちづくりに努めている。				

(1) 子どもを産み, 育てやすい施設・サービスに満足している市民の割合【21~50 歳】 (%) 【こども課】

☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
29.7⇒39.7	—	—	37.1	—	34.7
現状評価	現状分析と改善策				
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	既存の「子育てサポート利用助成事業」に加え, 平成 26 年度から「たつのご預かり保育利用助成事業」を開始し, 預かりサービス利用時の負担軽減を図っている。平成 28 年度にファミリーサポート及びリフレッシュ保育の利用者アンケートを実施し, 要望の多かった「リフレッシュ保育の開設日増」を平成 29 年度から実現するための関係条例の改正や関係各所との調整を行った。				

(2) 保育所の待機児童数 (人) 【こども課】

☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
0⇒0	0	0	0	0	0
現状評価	現状分析と改善策				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	年度初日においては, 待機児童は発生していない。しかし, 年度途中において, 待機児童が発生している状況があり, 平成 29 年度に向け, 既存の保育所等の利用定員枠の拡充や, 小規模保育所, 事業所内保育施設の開設準備を進めた。(平成 29 年 4 月/57 人の利用定員増)				

(3) 第 3 子以降の出生数 (人) 【こども課】

☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
103⇒—	90	99	108	92	80
現状評価	現状分析と改善策				
目標値設定せず, 経年変化をモニタリング	多子世帯の経済的負担を軽減するため, この間に「出産祝い金」の支給や就学前 3 年間の第 3 子以降の保育料を軽減する「すくすく保育助成事業」を実施した。また, 第 3 子以降の給食費負担金を免除するなど, 多子世帯支援に努めてきた。				

(4) たつのご育て応援の店登録店舗数 (店舗) 【こども課】

★ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
16⇒40⇒60	30	41	49	54	61
現状評価	現状分析と改善策				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	広報活動に加え, 商工会や商店会を通じて継続的に登録を働きかけてきたことで, 新目標値を達成できた。今後も登録店舗の増加に努めるとともに, 市民の認知度が高まるよう, 周知や活用の方法を検討する。				

(5) 病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス体制に満足している市民の割合 (%) 【健康増進課】

☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
34.4⇒39.4	—	—	42.2	—	39.4
現状評価	現状分析と改善策				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	休日や夜間における小児救急患者に対応するため, 二次保健医療圏など, 地域内の病院群が輪番で小児科医等を配置し, 救急医療を行う体制をしているが, 市民がいつでも安心して医療をうけることができるよう今後も医療サービス体制を継続していく必要がある。				

※ ☆印の場合:各年度単位での目標値及び実績値。★印の場合:最終年度末の累計による目標値。又, 当該年度末までの累積による実績値。

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

重点戦略	2 若者・子育て世代の定住環境の創出
まちづくり宣言（基本目標）	5 心豊かな「龍の子」を地域で育てるまちづくりを進めます。
宣言が目指すまちの姿	学校・家庭・地域の連携のもと、健康な体、豊かな心、確かな学力を身につけた児童・生徒が育っています。

1 総括評価

進 捗 状 況 評 価	B	評価コメント
		特色ある学校づくり事業や龍・学生ボランティア小中学校派遣事業の活発な活動、学校図書館への司書の配置など、関係機関と連携し、各取組が概ね順調に進められている。不登校率の改善には至っていないものの、龍の子支援システムの展開による不登校児童・生徒に対する個々に応じた各種支援の取組が進められ、部分登校や進学ができたなどの成果が見られる。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性（改善策）
		学校不登校や家庭環境、学校生活での小さなつまずきなどそれぞれ異なる要因で不登校となっている児童・生徒について、学校と関係機関、家庭が連携して適切な支援を継続していくとともに、龍ヶ崎市教育プラン（平成28年度策定）に基づき、未来を拓く子ども達のために教育環境の充実に努めていく。

2 主要事業の概要

主要事業名【担当課】	実施工程進捗状況	取組状況と事業推進上の課題
優先プロジェクト 龍ヶ崎教育市民会議の開催【教育総務課】 ※成果報告書 進行管理シートP27参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	龍ヶ崎教育市民会議を市内4箇所で開催し、市民の声を「龍ヶ崎教育プラン」の素案に反映した。しかしながら、教育市民会議の参加者が少なかったため、次年度以降に開催する際は、開催テーマ、日時及び場所等をさらに検討する必要がある。
学力の向上【指導課】 ※成果報告書 進行管理シートP28参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	各学校の実態に応じた学習充実指導非常勤講師の配置を行うとともに、少人数指導の充実を図るため、学校訪問時の指導助言や少人数指導事例の集約など、指導法や学習形態の工夫改善を図っている。今後も非常勤講師のより効果的に活用できる学習形態や学習内容の工夫改善に取り組む必要がある。
学校図書館の充実【教育総務課】 ※成果報告書 進行管理シートP29参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	各校の図書館に図書館司書を配置したことで、子ども達へきめ細やかな対応、読書意欲の高揚及び利用促進を図った結果、小学校での一人当たり年間平均貸出冊数は57.7冊、中学校は23.4冊となった。学校図書館司書の資質向上や新たな圖書の購入及び選書・入替えなど、今後も魅力ある学校図書館づくりに努めていく。
小中学校の適正規模適正配置【教育総務課】 ※成果報告書 進行管理シートP30参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	「龍ヶ崎市立北文間小学校・龍ヶ崎西小学校統合準備会」を中心に、北文間小学校と龍ヶ崎西小学校との統合に向けた準備を進め、平成29年度の統合を決定した。また、川原代小学校と大宮小学校については、地域団体代表等との意見交換会を計画とおりに行った。
教育支援体制の充実【教育センター】 ※成果報告書 進行管理シートP31参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	複雑化する現代の教育環境下で不登校となる子供たちが増えてきている中で不登校率の改善が進まない状況ではあるが、県内でも先進事例である教育センターを設置し、学校や家庭と連携して学校不登校の未然防止や適切な初期対応に努め、不登校やいじめ、児童虐待などの事案においてひとり一人に向き合い積極的に取り組むことで不登校を解消する子どもたちは多い。
学校・家庭・地域連携による特長的な教育環境の創出【生涯学習課】 ※成果報告書 進行管理シートP32参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	11月の龍ヶ崎教育月間、龍ヶ崎教育の日にあわせ「人権・教育講演会」を開催した。また、「家族へのメッセージ」・「親子でつくる給食献立」の作品募集を行い、教育に対する関心と理解を深めてもらう契機とした。また、各種青少年育成関係団体が実施する事業に、各団体の会員が相互に参加し事業協力を行った。
龍・流連携事業の拡大【指導課・企画課】 ※成果報告書 進行管理シートP33参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	担当者打合せ会や半期毎の事前ガイダンスの実施など、連携体制の強化に努めることで相互理解が深まり、活発かつスムーズな事業運営に繋がった。また、ボランティア学生の公共交通機関等の利用料補助を開始したことで、より多くの学校での活動を可能にした。今後も継続して、双方にとって有効となる事業を展開していく。
特色ある学校づくり【指導課】 ※成果報告書 進行管理シートP34参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	事業実施校に対して指導助言を行い、5校（小学校4校、中学校1校）においてスポーツ選手や音楽家等を講師に招き講演会等を実施した。キャリア教育の視点に基づいた職業観や生き方を考える有効な機会となっている。今後は広報の一層の充実に努めるとともに、意識調査等を通して把握し、成果と課題を検証する。

3 取組状況や成果に関する指標

指標	実績値, 推移, 他自治体比較など
学校図書の人当たりの貸し出し冊数〔中学校〕(冊/年)	龍ヶ崎市: 23.4 冊 (土浦市 15.4 冊/阿見町 14.8 冊/牛久市 11 冊/守谷市 4.3 冊/取手市 4.2 冊)
中学校の不登校率 (%)	龍ヶ崎市: 3.44% (土浦市 4.33%/阿見町 3.7%/つくばみらい市 3.39%/取手市 2.93%/守谷市 2.48%/牛久市 1.8%/石岡市・つくば市・稲敷市: 未公表)
小中学校ボランティア学生派遣事業に参加した人数	H22年度: 44人 H23年度: 61人 H24年度: 95人 H25年度: 111人 H26年度: 173人 H27年度: 220人 H28年度: 277人

4 数値目標の達成状況

(1) 小中学校の教育内容・施設に満足している市民の割合 (%) 【指導課・教育総務課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
32.1⇒37.1	—	—	32.4	—	33.1	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	少人数指導・チームティーチングの取組や龍の子サマースクールにおける補充指導等の取組, 英語指導助手配置による外国語指導充実, 学校図書館司書との連携を図った読書活動推進に努め, また, 各種改修工事など教育施設環境の改善に努めてきた。アンケート結果において子育て世代である30~40代に限定すると, 満足している割合は39.5%, 満足していないと答えたのは23.8%であった。					
(2) 小学校の不登校率 (%) 【教育センター】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
0.40⇒0.30	0.47	0.62	0.35	0.63	0.72	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	学校不適応や家庭における養育環境の悪化等が要因での不登校児童が増加傾向にある。また, 学校生活での小さなつまずきが不登校の要因となるケースも多い。学校や家庭との連携やケース会議による情報交換を通して, 不登校の要因についての見取りをしっかりと行い, 適切な支援を継続していきたい。					
(3) 中学校の不登校率 (%) 【教育センター】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
1.94⇒1.94	2.84	2.81	2.43	2.55	3.44	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	中学校生活に適応できないために不登校になる1年生の増加や, 1年生から長期にわたり不登校が継続している2年生の増加が見られた。このため, 生徒指導連絡会等による小中学校間の連携強化や, 相談員派遣による学校や家庭との協力体制づくりを一層充実させ, 中学校生活への円滑な順応を図りたい。					
(4) 学校図書の人当たりの貸し出し冊数〔小学校〕(冊/年) 【教育総務課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
43.8⇒50.0	49.9	50.3	49.2	50.9	56.8	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	学校によって差があるものの, 平均値で目標値を達成できた。司書教諭及び司書の資質向上や新たな図書の購入及び入替え等を行うとともに, 児童が興味を持った時, すぐに本を手にする環境を提供することができた。また, 自由な読書活動や読書指導の場として学校図書館が活用され, 読書活動が推進された。					
(5) 学校図書の人当たりの貸し出し冊数〔中学校〕(冊/年) 【教育総務課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
25.9⇒30.0	24.4	24.0	26.0	20.2	23.4	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	話題の図書等を購入して蔵書の充実を図り読書に対する関心を高めるとともに, 各学校において国語科をはじめとして, 調べ学習等の授業等で学校図書館を活用し教材と連携した読書を進めるなど, 読書活動が活発となるよう各種施策を講じたが, 年平均貸出冊数は年度により増減があり, 目標値に至らなかった。					

※ ☆印の場合:各年度単位での目標値及び実績値。★印の場合:最終年度末の累計による目標値。又,当該年度末までの累積による実績値。